

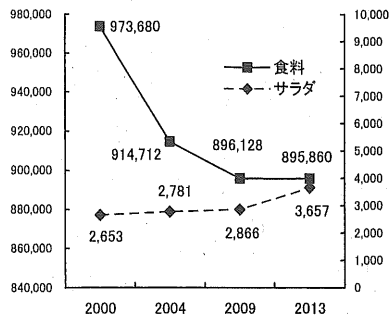
年の調査
昨家計調査

サラダ支出が増加

昨年、総務省・家計調査によると、生鮮野菜の

相場高や簡便化志向などから1世帯当たりのサ

食料およびサラダ支出額の推移(円)



ダ支出額が増加した。世帯人員が2人以上の世帯における昨年の食料支出額は年間

89万5860円で、前年に比べ1・9%増加。このうち調理食品は0・4%増の10万5033円、うちサラダは7・3%増の3657円。サラダは食料支出額よりも高い伸び率を示している。また、09年と比べ27・6%、04年比31・5%増加している(グラフ)。世帯主の年代別では、50代

で4688円と最高となり、60代3817円、70代以上3547円が続いた。収入別では年収200万円未満で2075円と少なくなったが、収入の高低との相関はとくにみられない。都道府県庁所在市で見ると、川崎市(5431円)、新潟市(5281円)、東京都(5281円)、宇都郊区部(5202円)、宮市(4796円)、静岡市(4781円)などで高くなっている。

は、野菜の高値推移で価格の安定したカット商品などを購入したことも大きいと見られるが、それにより「使い勝手の良さ」に目覚めた消費者が継続という指摘もある。そのため、今後も支出額は伸びると考えられる。なお、そのほかの分類では生鮮野菜が6万6297円で、相場高も影響し前年比3・1%増加した。生鮮果物は3万4322円で1・5%減少した。

昨年の支出額の増加